



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岩崎 雅信 (TEL) 06-6120-2001
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,150	5.2	33	△67.0	146	△19.8	139	△38.8
29年3月期第3四半期	4,898	1.0	102	△5.9	182	13.9	228	27.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	22.45		—					
29年3月期第3四半期	36.69		—					

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行なっております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,759	2,685	46.6
29年3月期	5,808	2,529	43.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,685百万円 29年3月期 2,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しているため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は1円00銭となり、1株当たり年間配当金は1円00銭となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	2.5	40	△62.6	200	△1.0	160	△39.4	25.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の1株当たり当期純利益については、当該併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	6,228,039株	29年3月期	6,228,039株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	12,056株	29年3月期	11,456株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	6,216,362株	29年3月期3Q	6,216,746株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の第97期定時株主総会において承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下の通りとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 1円00銭

2. 平成30年3月の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 2円57銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した金額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は、1円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)におけるわが国経済は、雇用情勢等の改善や各種政策により穏やかな回復基調が続いております。世界経済につきましては、北朝鮮情勢をめぐる警戒感はあるものの、米国を中心とした先進国の景気回復を追い風に堅調に推移しました。またアジア地域等においても景気は持ち直しの動きがみられるなど、全体的に穏やかな回復がみられました。

このような状況の中、当社におきましても、営業収入は堅調に推移しております。

当第3四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)における当社の業績につきましては、営業収入の堅調な推移にも拘わらず、営業利益は前年同四半期比では大きく減少しております。これは人件費を含めた原価率の上昇等によるものであります。

また、投資有価証券売却益43,439千円を特別利益として、投資有価証券売却損23,481千円を特別損失として計上しております。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は5,150,540千円で、前年同四半期累計期間と比べ252,261千円(5.2%)の増収となりました。営業利益は33,857千円で、前年同四半期累計期間と比べ68,602千円(67.0%)の減益、経常利益は146,046千円で、前年同四半期累計期間と比べ36,019千円(19.8%)の減益となりました。また、四半期純利益は139,554千円となり、前年同四半期累計期間と比べ88,523千円(38.8%)の減益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、当社主要取引先の受注が堅調であったものの、全般的には、顕著な回復傾向が見られるまでには至りませんでした。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、4,937,140千円で、前年同四半期累計期間と比べ、218,616千円(4.6%)の増収となり、全セグメントの95.9%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は332,065千円で、前年同四半期累計期間と比べ37,633千円(10.2%)の減益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、収益的には厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、208,973千円で、前年同四半期累計期間と比べ、34,043千円(19.5%)の増収となり、全セグメントの4.1%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、35,445千円で、前年同四半期累計期間と比べ、2,622千円(前年同四半期累計期間は△32,822千円)の減益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入は4,426千円で、前年同四半期累計期間と比べ397千円(8.2%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は4,331千円で、前年同四半期累計期間と比べ388千円(8.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より144,456千円減少して3,232,969千円となりました。これは現金及び預金の減少115,093千円、立替金の減少43,806千円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より98,726千円増加して2,522,848千円となりました。これは投資有価証券の増加95,606千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第3四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より2,728千円減少して4,163千円となりました。これは社債発行費の減少によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より23,990千円減少して1,611,359千円となりました。短期借入金の減少66,400千円、営業未払金の増加34,994千円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より180,053千円減少して1,463,454千円となりました。これは長期借入金の減少71,189千円、社債の減少81,150千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前年事業年度末より155,585千円増加して2,685,167千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加71,172千円、その他有価証券評価差額金の増加78,469千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成29年11月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124,473	2,009,379
受取手形	4,080	3,061
営業未収入金	756,071	768,607
立替金	440,259	396,452
その他	54,520	58,048
貸倒引当金	△1,978	△2,578
流動資産合計	3,377,426	3,232,969
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	148,589	147,727
構築物(純額)	2,782	3,340
機械及び装置(純額)	5,868	2,989
車両運搬具(純額)	52,936	54,683
工具、器具及び備品(純額)	15,111	12,425
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	38,936	33,070
有形固定資産合計	840,408	830,421
無形固定資産		
のれん	279,310	258,362
その他	27,471	57,499
無形固定資産合計	306,781	315,861
投資その他の資産		
投資有価証券	912,094	1,007,700
差入保証金	117,760	99,566
その他	509,176	540,336
貸倒引当金	△262,099	△271,038
投資その他の資産合計	1,276,930	1,376,565
固定資産合計	2,424,121	2,522,848
繰延資産		
社債発行費	6,892	4,163
繰延資産合計	6,892	4,163
資産合計	5,808,440	5,759,981

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	44,436	39,365
営業未払金	546,991	581,986
短期借入金	66,400	—
1年内償還予定の社債	156,800	141,800
1年内返済予定の長期借入金	597,963	683,764
未払金	47,656	62,872
未払法人税等	46,348	11,690
賞与引当金	38,720	11,093
その他	90,034	78,788
流動負債合計	1,635,350	1,611,359
固定負債		
社債	175,200	94,050
長期借入金	1,184,572	1,113,383
退職給付引当金	212,669	208,344
その他	71,067	47,677
固定負債合計	1,643,508	1,463,454
負債合計	3,278,858	3,074,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
その他資本剰余金	—	△13
資本剰余金合計	52,473	52,459
利益剰余金		
利益準備金	—	6,216
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	264,180	335,352
利益剰余金合計	264,180	341,568
自己株式	△11,189	△11,447
株主資本合計	2,699,863	2,776,979
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△170,281	△91,811
評価・換算差額等合計	△170,281	△91,811
純資産合計	2,529,582	2,685,167
負債純資産合計	5,808,440	5,759,981

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収入	4,898,279	5,150,540
営業原価	4,535,742	4,832,320
営業総利益	362,537	318,220
販売費及び一般管理費	260,076	284,362
営業利益	102,460	33,857
営業外収益		
受取利息	22	17
受取配当金	18,517	19,333
受取家賃	58,412	58,188
受取手数料	18,154	15,950
受取補償金	36,000	20,000
雑収入	25,861	40,944
営業外収益合計	156,968	154,433
営業外費用		
支払利息	18,990	15,407
支払手数料	15,172	12,223
社債発行費償却	2,728	2,728
賃貸費用	28,285	9,111
雑損失	12,186	2,774
営業外費用合計	77,363	42,245
経常利益	182,066	146,046
特別利益		
固定資産売却益	7,210	6,078
投資有価証券売却益	84,360	43,439
特別利益合計	91,571	49,518
特別損失		
固定資産売却損	30	—
固定資産除却損	1,089	80
投資有価証券売却損	—	23,481
特別損失合計	1,119	23,561
税引前四半期純利益	272,517	172,003
法人税、住民税及び事業税	44,439	32,449
法人税等合計	44,439	32,449
四半期純利益	228,078	139,554

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。